



人と環境の三木北高新聞



40周年記念式典が盛大に行われました。

11月12日(土)、三木北高校40周年記念式典が、三木市文化会館大ホールで盛大かつ厳かに執り行われました。お天気も良く、よい一日となりました。今日に至るまでの多くの方々の想いがつながって今の三木北高校を創りあげてきています。式典の中で、田中校長先生からは、想いのこもったご挨拶をいただきました。また、生徒を代表して第38回生徒会長の安部さんが挨拶をしましたが、大変堂々としており、良かったと好評でした。その他、生徒会メンバーの皆さんや野球部の皆さん、育友会の皆さま等がかけながらいろいろと準備や運営を手伝っていただきました。看板・舞台上の垂れ幕の字は、本校の書道の塩山先生が手掛けられ、書道部員が手伝いましたし、壇上の豪華な生け花は、華道部員が嵯峨御流の澤井先生のご指導のもと、作り上げた作品です。



生徒の皆さんも、三木北高校の歴史の大きな節目に立ち会えたことを、心に刻まれたのではないのでしょうか。

○ プログラム

オープニング 9時30分～9時50分

本校OG 又吉優香様(声楽家・ソプラノ)による独唱、ピアノ伴奏は本校音楽の矢野先生のご息女、矢野百華様。

記念式典式次第 10時00分開式

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1 開式の辞 | 2 国家独唱 |
| 3 学校長式辞 | 4 兵庫県教育委員会挨拶 |
| 5 来賓祝辞 | 6 来賓紹介 |
| 7 祝電披露 | |
| 8 喜びの言葉 | |
| ・創立40周年記念事業実行委員長 藤岡 貴志 様 | |
| ・育友会長 河本 久 様 | |
| ・生徒代表 第38回生徒会長 安部 瑠音 | |
| 9 校歌独唱 | 10 閉式の辞 |

記念講演 11時00分～11時50分

「コロナ、そして地球温暖化 大自然からの警鐘」
正木 明 氏 (気象予報士・防災士)

○ 学校長式辞

田中良季



紅葉が一段と色を増す季節となりました。本日はご多忙中にもかかわらず、多くのご来賓の皆様方をお招きし、本校創立40周年記念式典を開催できますことを心からうれしく思います。

「環境教育」「地域連携教育」「国際理解教育」を3つの柱として教育活動を行ってきた本校の歩みを振り返ってみますと、まず平成24年に、兵庫県では県立高校初の「ユネスコスクール」に認証され、近年では当たり前となっているSDGsの活動をどこよりも早く教育の根幹に据え、世界の人々や環境、将来世代にまで視野を広げ、地球を構成する一員としての自覚と使命感を持った人材の育成に

努めてきました。現在は1万人を超える卒業生が多方面で活躍しています。具体的には、平成28年度からユニクロとの共同事業である“届けよう服のチカラ”プロジェクトに参加し、世界の難民キャンプの子供たちに、生徒や地域の方々から着用しなくなった子ども服を集め、寄付してきました。その活動は全国的に認められ、“届けよう服のチカラ”アワード2018最優秀賞を受賞し、表彰されました。現在も、この活動

は継続しており、毎年5000着以上の子供服を贈ることができています。その他、「緑が丘駅前清掃」や、現時点で70万個を回収した「ペットボトルキャップ回収・リサイクル」の取組み、「グリーンカーテン(ゴーヤファンド)」によるECO対策、東日本大震災で被災した宮城県「志津川高校とのボランティア・交流」事業も、昨年で10周年を迎えました。

また、新型コロナウイルスの影響により中断していますDrouin Secondary Collegeとの隔年ホームステイによる交流の代わりとして、Zoomで交流を行いました。さらには、兵庫県在住の外国出身の方をお



招きして、異文化交流会を開催することで国際交流を図ってきました。特に、地域の方々から持ち寄っていただいた多くのランドセルを、日本に住む外国籍の子どもたちに、三木市、小野市の国際交流協会を通じて寄贈した活動は、地域の方々と連携し、環境教育、国際理解教育を実践できた取組であったと自負しています。

以上のような本校の活動は、三木市様や、青山、緑が丘を中心とする地域、近隣の企業、教育機関等のご支援・ご理解・ご協力あればこそ実現できた教育活動です。心から感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

しかしながら、少子化、高齢化の影響等により、かつては各学年10クラス以上の規模を誇った本校も、現在は各学年3クラス規模となり、部活動数の削減、行事の小規模化など、各生徒や保護者、地域のニーズに十分応えることが困難になりつつあります。その現状を打破するために、10年後、20年後を見据え、令和7年に、本校は、三木東高校と吉川高校と3校で統合することになりました。三木で生まれ育った子供たちが、三木で学べるように特色化・魅力化を図るのは三木の高校としての責任です。この発展的統合により、3校の良き伝統と特色をしっかり受け継いだ、時代の流れや周囲のニーズに応えることができる新しい学校が誕生することになります。今後は、統合校3校が協力して、三木の高校としての責務をしっかり果たしていかなければならないと考えています。

とはいうものの、この度の発展的統合により4年後の令和八年度の卒業生を最後に三木北高校の生徒はいなくなります。本校で学び青春時代を過ごした同窓生の方々や本校が面する大通り脇の歩道から時には厳しく、しかし、いつも愛情に満ちあふれた視線で、子供たちを見守り成長させてくださいました青山、緑が丘の地域の方々、歴代校長先生をはじめとする本校を大切に守って来られた先生方など、本校関係者の方々には、現校長として申し訳なく思います。到底ご容赦いただけることではないとは思いますが、三木北高校としての残りの4年間を三木北高校らしく、精一杯教育活動に励んでいきたいと考えています。三木北高校最後の一日まで「人と環境の三木北」として、これまで本校の教育に携わってこられた方々の思いを込めて、皆様の記憶に永久に留めていただけるよう教育活動に邁進していきたいと考えています。今後の三木北高校、さらには、本校の流れを汲む統合校の活躍にご期待くださいますようお願いいたします

○ 生徒代表挨拶 第38回生徒会 会長 安部瑠音



本日、兵庫県立三木北高等学校創立40周年記念式典が、このように盛大に挙行されますことを、生徒を代表して心からお礼申し上げます。記念すべき節目の年に立ちあえたことをとてもうれしく思います。

私は本校40周年という年月に、とても歴史の重みを感じています。記念誌を拝見しますと、三木北高校は昭和58年に開校し、発展期には11学級まで増加、地域から信頼される「北高」になったと書かれていました。その後も発展を続け、ユネスコスクール認証やグリーンスクール表彰など、今日の「環境の三木北高校」があるのは、数多くの方々のご尽力、卒業生の皆様の努力があったことと思います。

私のこれまでの高校生活を振り返りますと、入学当初、新型コロナウイルスが猛威を振るい、これがいつまで続くのかという不安を抱えながらのスタートでした。1年生の頃は感染拡大防止のため、登校さえできず、ほぼすべての学校行事が中止になってしまいました。しかし、現在は先生方のご尽力により、多少の制約はありますが、例年通り行事を開催でき、修学旅行も無事に終えることができました。そして、現在、三木北高生は勉強や部活動、学校行事に一生懸命取り組み、活気にあふれた学校生活を送っています。また、第3学年の私たちはそれぞれが自分の進路実現に向けた努力を続けています。

残念ながら、2025年度には発展的統合により、三木北高校はなくなってしまいますが、残りの学校生活も素晴らしいものとなり、統合後も三木北高校のよき伝統が引き継がれていくことを願っています。

最後になりましたが、本日の記念式典にお越しいただきました皆様、式典開催にあたり、ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げます。生徒代表の挨拶とさせていただきます。



式典に参加した在校生の生徒の皆さんが来賓の方々の挨拶を聴く姿勢も大変すばらしく、創立40周年という歴史を祝うにふさわしい良い式典となりました。三木北高校の良い伝統が引き継がれていくことを切に願ってやみません。式典後は、交通マナーを守って三々五々解散となりました。学校に戻って部活動に勤しんだ部もありました。この後は、行事らしい行事も少なくなります。体調管理に気をつけて、2学期期末考査を無事に終え、良い年の締めくくりを迎えられるといいですね。

○ 記念品



- ・「山田錦バウム」
(株式会社 稔樹)
- ・「econa」
(株式会社 キングエース)
- ・「40周年記念誌」
- ・トートバッグ



オープニングの様子



お礼の花束贈呈

○ 本校OBの先生方から、生徒の皆さんへお言葉をいただきました。

「40年後の後輩たちへ」 第1回生 佐野 代行 第1学年主任

1973(昭和48)年に、開拓中の緑が丘に引っ越してきました。当時は幼稚園も含めた学校施設は何もなく、幼稚園、小学校、中学校が建設されるという話は、早くから聞いていましたが、高校が出来ると言う話を聞いたのは、中学1年生の頃だったと思います。現在の公民館から志染中の間は山で、夏になれば蛍が乱舞していたのをよく憶えています。山が開拓され、その蛍が飛んでいた場所に建てられたのが、我が北高です。青山の地に建てられた新設校は、堂々と蛍のように輝いていました。開設当時の厳しさは、君たちも聞いています。「30年・40年後の後輩たちのために頑張れ」と教員の方がたに指導され、未来の後輩たちのために、勉強に部活動に一生懸命取り組んだことは、一生の思い出です。



卒業して教員となり、33年ぶりに帰って来た我が母校は、外観は色あせていますが、生徒を筆頭に学校自体は、建設当初と変わらず今も輝いています。40年間、青山地区・緑が丘地区の学校教育の核として存在し、風格も兼ね備えた北高は、40年後の後輩たちにも輝いて見えているのでしょうか。我々、創世記の北高生は今の君たちのために、頑張りました。北高のゴールが見えた今、今いる君たちが、先輩たちのために頑張ってください。先輩たちのために北高を輝かせてください。卒業生を代表してお願いします。

「出会いを大切に」 第9回生 石田 武史 第3学年主任



北高勤務12年目が終わろうとしています。前任校から北高への転勤が決まり、校長室に挨拶に行ったときにいただいたものは「苦情メールのコピー」でした。(苦情がなくなったら破り捨ててやろうと思いましたが、今も大切に持っています)状況は知っていたものの、悔しかったですね。まだまだ油断できないことが日々起こっていますが、そんな北高も今は落ち着きを取り戻し、OBとして少し安心しています。

私は北高に入学し、数学のT先生とE先生に出会い、憧れ、教師を目指しました。私の人生を決めた2人です。大学は富山で4年間、一人暮らしをしました。北高で勉強をしていなかったら合格していなかったと思います。理学部数学科のクラスメイト、野球部のメンバーは私にたくさんの+(プラス)を与えてくれました。彼らとの時間は私の財産です。大学を卒業し、兵庫に戻り、北高野球部でコーチをしました。その時、ノックの技術を一から教えてくれたK先生。妻に出会わせてくれ、3人の子どもの恵まれ、幸せな家庭を持つことができました。私の恩人であり、目標です。

今の自分があるのは北高のおかげだな、と改めて思います。こんな書き方をすると語弊があるかもしれませんが、私は仕事をしているという感覚はあまりなく、恩返しをしているという気持ちで毎日学校に来ています。ですから、毎日充実しています。実は最近、

北高がなくなってしまうと私はどこで何をすればいいのかわからず、少し悩んでいます。しかし、北高の良さは北高で働いた先生方と卒業生がいる限り、消えることはありません。それでいいかなと思っています。

生徒の皆さんは北高ライフをどのように過ごしていますか？楽しい人もそうでない人もいます。先輩として後輩の皆さんに言いたいことは「何事も途中経過で判断しないこと」です。自分を変える出会いやチャンスはどこにでもあります。もったいないと思うことは、それに気付けないことです。スマホの画面ばかりではなく、たまには顔をあげて周りを見てみよう！この先、皆さんにもいい出会いがありますように。

○ 各種委員会、部活動等の活動報告



生徒会 令和4年度 赤い羽根共同募金

生徒会主催で11月1日(火)2日(水)に校内で行われました。集まった募金は、11月9日(水)に三木市共同募金委員会あてに振込みました。生徒・職員の皆さん、ご協力ありがとうございました。 **合計金額 12,316円**

環境研究部

11月16日(水)放課後、環境研究部が、FMみっきいを訪問しました。「じんけん・こころの小窓」の収録に参加するためです。この番組内で、環境と共生をテーマに「持続可能な開発のための教育」を実践している三木北高校を紹介し、また環境研究部の活動についても語っています。

放送は12月7日(水)、14日(水)の2回(内容は同じ)です。放送時間は12時30分から。また再放送はそれぞれの週の土曜日の朝8時15分からです。ぜひお聴きください。



緑が丘駅前清掃ボランティア活動



本校では、日頃お世話になっている最寄り駅の神鉄緑が丘駅前の清掃活動を長年行ってきました。現在は、新型コロナウイルス感染症のため二か月に一度ですが、各部活動部員や有志を募ってボランティアとして行っています。直近では10月2日(日)、空手道部、男子バレーボール部、テニス部(女)、野球部、有志総勢65名が参加して実施されました。次回12月は期末考査直前になるため行いませんが、2月には実施予定です。



音楽部

普段は、学校の特別棟で練習しています。11月18日(金)25日(金)昼休みに、中庭ライブを行いました。また野外音楽イベント「This is MIKI39 トライフェス」に参加します。11月27日(日)11:00~13:00 場所は、旧玉置家住宅裏庭(三木市本町2丁目2-17)です。三木北高校音楽部からは、3チームが出場します。三木北高生が出場する予定時間は、11:10 11:40、12:15の三回です。お近くの方は是非のぞいてみてください。

家庭研究部

こども食堂にお菓子を届ける活動を継続的に続けています。10月は、チョコチップ入りかぼちゃマフィンとさつまいもマフィンの2種類を届けました。学校で収穫したさつまいもを使用し、旬の食材を使っておいしいお菓子ができました。11月は、メロンパン風スコーンを届けました。先日のオープンハイスクールでも作ったお菓子で、部員たちはみな手際よく作っていました。「次回もおいしいお菓子をお届けしたいです!」とのことでした。